

01 心でつながる ずっとここで暮らしたいまち 湖南省



子育てを楽しめるまちの実現

下田こども園の建替えや、こども食堂を含めたこどもの居場所づくりを進めます。また、支援が必要な子どもを支援につなぐ仕組みを充実させます。

たくさんの方の皆さんに甲西図書館へ来館していただくため、施設の運営、在り方についての検討や、全天候型の遊び場の検討を進めます。

高齢者を支える輪が広がっているまち

年を重ねても健康的な生活を送るために、「健康状態の可視化の仕組み」「運動」「食」の分野で強みのある企業と連携し、運動への無関心を好奇心に変え、市民が楽しみながら自然に運動習慣と正しい食生活が身につくプロジェクトを展開します。

心豊かな生活のために

市民が心豊かに生活するために必要なものの一つとして、文化芸術の振興があげられます。甲西文化ホールにおいては、施設の長寿命化を図り、来場者が快適に利用していただけるようにしていきます。

02 持続可能な稼げるまち 湖南省



公共交通・都市計画・インフラ整備に20年後の視野をもつまち

国道1号の4車線化の実現に向け、単なる渋滞の解消を訴えるだけでなく、湖南中央消防署の移転や国道1号を中心とした「まちづくり構想」を示し、関係市で構成する団体を通じ粘り強く訴えていきます。市民の移動の根幹を担う地域公共交通は、市人口の高齢化をうけ重要度が増す中、交通事業者だけに頼る移動手段の確保が、ますます難しくなることが予想されることから、産官学民が共創し、新しいプラットフォームを構築するための調査研究に取り組みます。

SDGs 未来都市、脱炭素先行地域に選定されたまち

湖南省は、脱炭素先行地域に選定され、官民連携の脱炭素化に向けた取り組みを通じ、すべての人が活躍する場や地域のつながりを創出し、地域循環共生圏の実現とSDGsの貢献をめざしており、官民連携のもと福祉施設や公共施設などに太陽光発電設備や省エネルギー設備を引き続き導入してまいります。また、家庭における二酸化炭素の排出量や電力消費量の削減を図るとともに、昨今のエネルギーや物価の高騰を受けた生活者の負担軽減を図るため、省エネ家電の買い替えに要する費用の一部を補助し省エネ家電の普及を促進してまいります。

交流人口・関係人口の増加をめざして

緩やかに人口減少の傾向にある湖南省の活力を力強いものとするためには、交流人口や関係人口を増やすことが重要です。9月から10月にかけて行われる「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ2025」では、選手の皆さんがもてる力を遺憾なく発揮し、応援に訪れる関係者の皆さんにも楽しんでいただき、「湖南省いいところやな」と感じていただけるよう準備を進めてまいります。

また、湖南省は湖南工業団地を中心に発展してきたまちであることを踏まえ、市内外の大人や子どもに、卓越した技術を有する市内企業や湖南省の魅力を感じてもらえるような工場見学会ができないか、現在協力を呼びかけているところですので、これを実現し、将来的に企業見学と天然記念物平松のウツクシマツ自生地や湖南三山などの文化財を巡る観光ツアーが実施できるよう進めてまいります。

03 市民とつくるまち 湖南省



防災減災を市民とともに進める災害に強いまち

耐震性能が不足している甲賀広域行政組合湖南中央消防署は、現在ある野洲川の南側から、湖南工業団地にも近い北側岩根地先において建替えのための環境を整えます。これにより野洲川の南側にある石部分署とともに、野洲川の両岸から湖南省をカバーできる体制となります。

また、災害時に避難所として利用する小中学校の体育館の空調設備を整備し有事の際に備えます。



東庁舎・西庁舎周辺整備を市民とともに進めるまち

東庁舎・西庁舎は、耐震性能不足と老朽化のため早期の対策が必要であったことから、東庁舎は建替えを前提に進めてきたものの、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、感染症対策を優先するために整備を立ち止まっておりました。また、市内各所に分散している各施設の機能を集約しつつ、小規模多機能自治を実践していくための施設の規模や機能についても検討する必要もございました。これらのことから市では全面建替えを前提とすることなく、あらゆる可能性を検討してまいりました。アンケート調査やタウンミーティング、若者との懇談会やパブリックコメントを通じて説明に努め、意見を聞いてまいりました。また同時に「湖南省庁舎整備計画検討委員会」を組織し、合計6回にわたり議論を重ねていただき、その結果を提言として頂戴いたしました。以上のことを総合的に判断し、東庁舎は新築することとし、西庁舎周辺については、西庁舎の機能を東庁舎に集約後に整備を行うものとしたしますので、それまでの間じっくりと協議を重ね、次の時代に求められる施設について検討してまいります。

施政方針

令和7年度

みんなで支える子育て政策の推進

湖南省は昨年10月に市制施行20年の節目を迎え、新たな一歩を踏み出しました。そして、令和7年度は、第二次湖南省総合計画基本構想・後期基本計画の最後の年度となります。「ずっとここで暮らしたいーみんなで創ろう きらめき湖南」をまちの将来像として、各種施策を進めてまいります。引き続き第三次湖南省総合計画の策定に向け、人口減少、物価高騰、働き手不足など生活に関わる課題に向き合い、笑顔があふれ、心が通い合うまちをめざして検証を進めてまいります。

湖南省の強みは、区・地域まちづくり協議会を担っていただく皆さんを中心に「私たちの地域は、行政だけに任せずにそこに住む私たちも何とかしていく」という考えのもと、互助、互助の姿勢が強くあることです。行政はこれに甘んじることなく、行政にしかできないことに注力します。また、もう一つの強みは「支援を必要とする人」を核としたさりげない支援体制を庁内連携で構築できることです。縦割り行政を打破するには、組織改革もさることながら、まずは「支援を必要とする人」や「解決すべき課題」を円の中心に据え、職員がつながりの中で支えたり、解決したりする意識の改革に努めなければなりません。また、現在中心となつてまちづくりを進めてくださっている皆さんと、次の世代を担う若者をつなぐことが、今後の湖南省を「市民笑顔率世界一」に導く活力になると考えています。

職員が3K(機動力・根拠・心)でもつて市民と一緒にまちづくりに邁進できるよう、私自身が誰よりも笑顔で先頭に立ちます。様々な年齢からなる職員集団が、どの年代からもちづくりについて前のめりになれるような雰囲気をつくってまいります。5ページには、3月議会でお示ししました施政方針の一部でありますご紹介いたします。さらなる市政の発展に向け、各種施策の推進に邁進してまいりますので、よろしくお願いたします。

松浦市長のスマイルバトン



新生湖南省に寄せて

